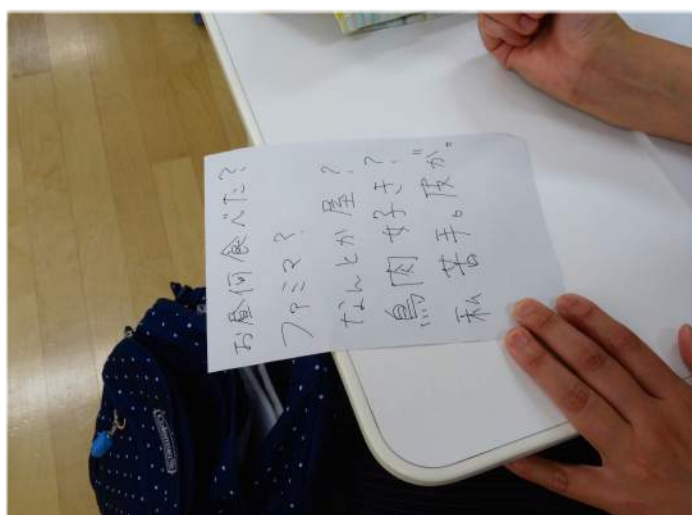


6月2日 サポボラ・要約筆記の授業がありました。講師は和歌山要約筆記会の三浦さんです。

要約筆記とは、主に中途失聴（もともと耳が聞こえていたが、病気や事故などで聞こえなくなった場合）の方に用いることが多いそうです。そういう方は日本語が話せるし読めるので、外見上は聞こえないことが分かりにくく、周りの人には聞こえないと言う事が理解されにくく大変だということです。

1分間に文字の大きさも意識してひらがなを何文字書けるか練習です。ちなみに1分間に口で話をするときには300～350字だそうです。書き文字は…60～70字が精一杯でした（相手が読める字で）



実際に講話（こうわ）で伝言ゲームをしてみて、口の形で言葉を伝えることの難しさと、書いて伝えることの大事さ（正確に伝えることの難しさ）を学びました。